

本日2月3日(月) せつぶんえ 節分会(豆まき)をして、心の鬼を追い払いました！

日本のステキな伝統をていねいに子ども達に伝えていきましょう！

「節分」とは季節の変わり目で、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことです。暦の上では昨日2日が節分で、本日3日が立春です。自然界では大地も含めて温かな春へと動き出していくことになります。昔から季節の分かれ目には、「体調がおかしくなったり、バランスが崩れ、事故やケガ」になってしまうと恐れられてきました。その災いの原因としては「心にゆるみが出て、その隙間に悪い鬼が現れて暴れているからだ」といわれ、鬼の一番嫌いな臭い匂の強いイワシの頭やトゲトゲの柊(ひいらぎ)で追い払うことによって守られることと、豆を投げて追い払う「節分に豆まきをする」と伝えられ、季節の行事として続けられて来ている。



「こどものもり」の節分には鬼が出てきません！

他の園やテレビ等では「節分」には子どもたちは鬼のお面を作り、誰かが鬼の衣装を着て金棒を持って暴れて出てきたのを、子どもたちがキャーキャーと興奮して豆を投げたり、逃げる鬼を見て喜んでいる場面はよく見る光景ですが・・・？「こどものもり」の節分では単に「面白おかしく豆投げゲーム」をするのではなく、「節分」の本来の意味を伝えています。「心の中の良くない鬼(わがまま・好き嫌い・泣き虫・いじわる・うそつき・欲張り・乱暴な言葉使い等)を追い払い「心も体もすてきな子になる」ために「豆をまく」ことを行っています。



こどものもりでは・・・何日も前から「節分にちなんだお話や紙芝居」をみて、造形コーナーでは園の家長としての理事長が着る「袴(かみしも)」を作り、準備をしました。



本日理事長が木の柊(ます)を持ち、年齢ごと(ちゅうりっぷ組とこすもす組・さくら組・たんぼぼ組)が集まっている部屋へ行き子どもたちと一緒に「ふくは～うち♪」「オニは～そと♪」と言いながらほんの少量の豆をまきました。年長のすみれ組は「太陽の部屋」に集まり、園長先生から「節分」の話聞き、豆まきをしました。どの子もみんな「心の中の良くない鬼を追い払い、どの子も『光の子』としてニコニコ笑顔で心のすてきなよい子になることをいつも願っています。」その思いを大切に受け止めていくことが大人の役割であり、ご家庭での役割とも思いますので、

園と家庭が一緒になって育てていきましょう。よろしくお願いいたします。

「節分豆知識」

家の玄関に鬼の一番嫌いな「豆と柊(ヒイラギ)とイワシの頭」を飾り追い払うため。「豆」はお腹の毒素を出す、「ヒイラギのとがった葉」が鬼の目をつぶす、「イワシの頭の腐ったにおい」は鬼が嫌うと言われていす。～皆様が良い一年を過ごせますように！～



えほうまき

恵方巻を作って食べ、今年も元気で、良い子が育っていきます！

「恵方巻」のデモンストレーションをちゅうりっぷ組とこすもす組、さくら組、たんぼぼ組そして、さくら組、たんぼぼ組 すみれ組と年齢別に子どもたちの前で先生方で作りしました。



「恵方巻」は「節分の夜にその年の恵方(今年は西南西)に向かって目を閉じてしゃべらず、願い事を思い浮かべながら太巻きを丸かじりするのが習わし」とされています。中味は「七福神」に因み、「福を食べるといいう意味があるそうです。ランチルームで、一人一人「西南西」を向いて願い事がかなうように静かに(モクモクと)黙って食べる子どもたちでした。ご家庭でも家族そろって、この一年が災いや病気にならず、明るく笑顔の

毎日でありますようにお祈りいたします！



先週3日間の保育参加での「お店屋さんごっこ」に参加していただき、ありがとうございました。お子様と一緒に買い物ごっこを楽しんでいただけましたでしょうか。年長児が11月から「卒園前にみんなで楽しめること」として考え、グループで話し合いが始まりました。お店屋さんでは・・・と次々考え、作り上げてきました。このエネルギーを次につなげて卒園の日を迎えていきたいと思ひます。ご家庭でも応援をよろしくお願いいたします。

【おしらせ】2月の雑費納入期間は2月18日(火)・19日(水)・20日(木)となり前日に納入袋をお渡します。

3月の雑費納入期間はそら組修了式(木)・卒園式3月15日(土)などの関係で

3月7日(金)・10日(月)・11日(火)となり、前日に納入袋をお渡します。